

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま 第35号</b>	発行日	令和6年7月17日(水)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

## ○別府市議会見学について。

別府市議会では、議場の見学を受け付けており、議場を見たい、あるいは市議会の役割や仕組み等を聞きたいなどの希望に対応しています。本日、その旨、本校に案内がありましたのでお知らせします。

なお、募集対象については、どなたでも見学できるようですが、あらかじめ申し込みのあった5名以上の団体・グループなどの要件がありますので、詳細は別府市議会・広報広聴委員会(0977-21-1547)にお尋ねください。

また、説明にお見えになった日名子副議長と小野市議には本校の様子などもお話しさせていただきました。

★★

## ○校長室で小学生との面談について。

### 1 学校生活について

- (1)宿題は学校です。(2)文化祭でピアノを弾くのが楽しみ。(3)カナヘビ(トカゲの一種)を触ることができる。(4)みんな正直です。(5)田中琴乃さんにあえてよかった。(6)中学校に進級するとテストなど多くなるなあ。

### 2 将来の夢

- (1)看護師になって、離島等で困っている人を助けたい。(2)薬剤師になって、薬をつかって人の役にたちたい。(3)イルカのトレーナーになりたい。(4)おもちゃ屋さん。子どもが喜ぶ店にしたい。(5)ダンサーになりたい。

★★

## ○読み聞かせに寄せて。(PTA会長 村津 奈穂)

7月5日(金)の生徒さんへの読み聞かせでは、新紙幣に切り替わったことから、福沢諭吉の「学問のすすめ」を選択しました。時代背景も感じてほしいと思い原文で読みました。

生徒さんと対話しながら、この機会に伝えたいことも沢山織り込んで進めました。

福沢諭吉のこの本での一番大きなメッセージは「現実にはみんな平等じゃないよね。でも現状を変えたいよね。自分が生きたいと思うように生きるためには、いろんな知識が必要じゃないか。だから学問(勉強)を勧めるよ」です。

終了後、感想を伝えにきてくれた生徒さんがいたことがとても嬉しく、本を通じて、新しく交流が生まれるのも、この活動のよいところだなあと感じました。

コロナ以降、途絶えていたブックリーディングクラブを再開させていただいた榎原さん、朝の貴重な時間を読み聞かせに充ててくださっている先生方に心より感謝いたします。

読み手の声に耳を傾けて、豊かな本の世界をみんなで味わう時間を大いに楽しみましょう！